

# 「不易流行」

よき伝統を守りながら(不易)

進歩に目を閉ざさないこと(流行)によって

「理想」を創造する

## 「Good Job!」バッジ

役場でも働き方を改革しないといけないと、ずっと考えていました。時間外勤務の削減や事務事業の改善はもちろんですが、そのベースになるのは仕事への取り組み姿勢ではないかと思うに至りました。人は叱られるよりも褒められた方が、気持ちがいいはず。そして、褒められることが原動力となつて、新たな行動につながっていく。また、お互いの仕事の良いところを見るきっかけをつくり、褒め合うことで質を高める取り組みにしよう、と、「Good Job!」バッジを作製しました。「Good Job!」とは、「頑張ったね!」、「お疲れ様!」、「よくやった!」という意味です。江府町役場では毎月初めに庁内会を開催し、各課の職員が集合します。その際に各課から先月の良い仕事を報告してもらい「Good Job!」として、拍手で讃えていました。

10月からは拍手だけではなく、「Good Job!」バッジを贈呈することにしました。

民間企業では、社員がお互いを褒め合うカードを使用して、社員の仕事への満足度を高めているケースもあります。

ANAグループが実施している「Good Jobカード」は2001年に始まった制度で、社員同士が「褒め合うカード」ですが、進化を続け約4万人の社員で、年約17万枚のカードが行き来するそうです。

「称賛」を習慣に。江府町役場でも、職員の仕事への満足度を高め、住民サービスのさらなる向上につなげていこうと思います。

職員の行動で「よくやっていた」と思われたことがあれば、私に教えてください。教えてくださった住民のみなさんにも、「Good Job!」バッジを差し上げます。



▲「Good Job!」バッジ

# 「3000人の楽しい町」プロジェクトチーム(※)活動報告

若手職員によるグループ活動「小さなカイゼン部活動」の第2回部活動を9月25日(水)に、江府町総合健康福祉センターで行いました。

第2回部活動では、各班の現時点での進捗状況を発表しました。前回に引き続き、課題をさらに掘り下げて、解決すべきポイントを絞り込んでいく班もあれば、「担当が不在の場合に、書類の場所がわからなくて困る」という課題に対して、「業務共有シート」を取り入れてみてはどうか」と具体的な打開案を紹介した班もありました。

「業務共有シート」とは、書類の置き場所や概要について簡潔に記載することができるもの。紹介を行った職員が、実際に他市の図書館で、蔵書の背表紙に設置場所を記載するラベルが貼られていることをヒントに考えたものでした。また、ある班では、メールを送る際、件名に「締切日」や「重要度」などを

表記することで、相手に情報が伝わりやすくなるように、すでに改善を実践していました。

一方で、「文書の受付」、「文書の回覧」など、全課でルール統一がされていないことが多々あります。こういった各課でバラツキのある、「当たり前」の業務についても、他の自治体の事例を参考にしながら、今後の部活動を通して、改善策を模索していきます。



▲第2回「小さなカイゼン部活動」の様子

これまでの活動はこちら!



これまでの活動の様子はQRコードを読み取ることでご覧いただけます。

※「3000人の楽しい町」プロジェクトチームとは・・・有志の20～30歳代の江府町役場職員と、その職員から選出されたリーダーで構成。今年度で4期目を迎え、楽しい町の支障となる様々な課題について課を越えて取り組む。